

アフターコロナの「組合運営」を考える研修会 日程表

(組合事務局代表者会議 第2回研修会)

開催日時 令和5年3月8日(水) 15:00～17:20
開催方法 オンライン(Zoom)と集合型(実地)併用でのハイブリッド開催
集合型: 平安閣サンプリエール
(〒850-0035 長崎市元船町2番4号 電話: 095-822-3390)

目的・趣旨

中小企業団体事務局代表者協議会は、中小企業問題や組合運営の課題等について研究討議し、既存事業の見直しと新たな組合事業展開を模索するとともに、本会事業の活用により組合事務局代表者の資質向上等を図ることを目的に結成されています。

新型コロナ禍において社会経済活動の正常化が進みつつある一方、国際情勢等による不透明感や急激な円安による影響等で、原油・原材料の高騰や部品の調達難など、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況を呈しています。

この難局を乗り越え、持続的な成長を続けていくためには、個社での対応はもちろん、中小・小規模事業者のインフラ、プラットフォームとしての役割を担っている組合等連携組織による、ネットワークを生かした戦略的な取組みが今後ますます重要です。

そこで今回の研修では、中小企業論がご専門であり、組合研究の第一人者である明治大学 政治経済学部 専任教授 森下 正 博士(経済学)を講師に迎え、これまでの研修アンケートでニーズが高かった「組合運営」について、全国の先進組合事例も交え、今後の方向性をご提案いただきます。

主 催 長崎県中小企業団体中央会・長崎県中小企業団体事務局代表者協議会

タイムスケジュール

15:00	開会あいさつ
15:10～16:40 (90分)	テーマ: ウィズコロナ・アフターコロナの組合等連携組織の方向性 講師: 明治大学 政治経済学部 専任教授 森下 正 博士(経済学) 1. 組合等連携組織の現状と課題 2. 組合活性化への道 3. 組合執行部(役員)・事務局・青年部・女性部それぞれの役割 4. リスキリングを含む教育情報提供事業の拡充の必要性 5. ものの見方・捉え方の変革を ※内容は現時点のものであり、内容は一部変更となる可能性があります。 【講師について】 94年明治大学政治経済学部助手、96年専任講師、99年助教授を経て、2005年から専任教授。教務主任、地域行政学科長を歴任し、2017年から経済学科長。専門は中小企業論。2003年から明治大学社会連携促進知財本部、同知的資産センター、同インキュベーションセンターの本部員、センター長を歴任し、地域産業活性化事業に注力。
16:45～17:05 (20分)	【情報提供】 オーダーメイド研修(生産性向上支援訓練の活用)のご提案 説明者: ポリテクセンター長崎ご担当者
17:10～17:20 (10分)	連絡事項・その他 ・長崎県中央会からの情報提供 等
17:30～19:30	交流懇親会(会費7,000円)